



未来は、ミルクの中にある。
雪印メグミルク

平成29年3月期

決算報告

2017年5月11日

1

平成29年3月期 連結業績

2

平成30年3月期 連結業績予想

1 平成29年3月期 連結業績

2 平成30年3月期 連結業績予想

平成29年3月期

連結業績（経営成績と配当）

(億円、%)

■ 経営成績 ■

	平成28年3月期	平成29年3月期	増減額	前期比
売上高	5,783	5,879	+96	101.7
営業利益	140	187	+47	133.9
経常利益	142	202	+60	142.5
純利益※	150	129	▲20	86.3

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 配当 ■

普通配当

40円

連結配当性向

20.9%

平成29年3月期

連結業績（セグメント別内訳）

(億円、%)

	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	2,323	102.4	2,774	103.0	430	93.6	350	97.3
営業利益	117	123.9	46	201.2	12	145.9	11	83.1

主な施策

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 成長分野（チーズ・ヨーグルト）の事業拡大 2. 戦略投資設備の最大活用 3. 飲料・デザート類の事業構造改革 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 宣伝促進費の効果的な活用 ✓ 積極的なプロモーションの展開 ✓ 生産能力の増強
(小型ボトルタイプドリンクヨーグルトライン増能) ✓ プロダクトミックスの改善 |
|---|--|



4

平成29年3月期

連結営業利益増減要因の内訳

平成28年3月期	平成29年3月期	増減額
140億円	187億円	+47億円

増益要因 合計	+80	減益要因 合計	▲33
販売物量増加による利益増	+24	宣伝促進費の増加	▲13
製品構成差	+20	減価償却費の増加	▲10
資材単価差等	+20	その他	▲10
エネルギー単価差	+9		
コストダウン	+7		

セグメント別の内訳は、決算短信の補足情報（46頁）をご参照ください。



5

連結貸借対照表

(億円)

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	増減額		平成28年 3月期	平成29年 3月期	増減額
流動資産	1,419	1,386	▲32	流動負債	1,319	1,210	▲108
固定資産	2,022	2,028	+5	固定負債	798	749	▲48
総資産 3,415億円 (前期比▲26億円)				純資産	1,324	1,454	+130

増減要因

【流動資産】

➤ たな卸資産： ▲39億円

【固定資産】

➤ 有形固定資産： ▲15億円

➤ 投資有価証券： +16億円

【流動負債】

➤ 短期借入金： ▲52億円

➤ 未払法人税等： ▲35億円

【固定負債】

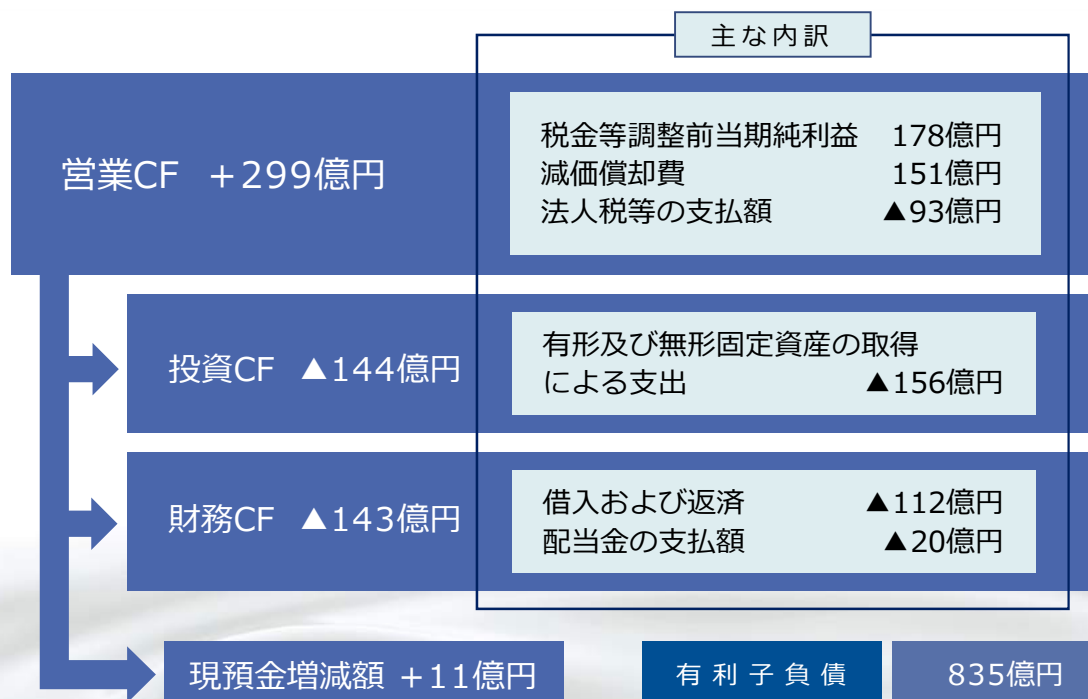
➤ 長期借入金： ▲60億円

【純資産】

➤ 株主資本： +110億円

自己資本比率 41.9%

連結キャッシュ・フロー計算書



1 平成29年3月期 連結業績

2 平成30年3月期 連結業績予想

平成30年3月期（連結業績予想）

連結業績予想（経営成績と配当）

（億円、%）

■ 経営成績 ■

	平成29年3月期	平成30年3月期	増減額	前期比
売上高	5,879	6,000	+120	102.1
営業利益	187	195	+7	104.0
経常利益	202	205	+2	101.1
純利益※	129	130	+0	100.1

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 配当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	20.9%
------	-----	--------	-------

平成30年3月期（連結業績予想）

連結業績予想（セグメント別内訳）

(億円、%)

	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	2,375	102.2	2,842	102.4	421	97.9	362	103.2
営業利益	112	95.6	61	131.9	10	79.7	12	108.9

乳製品セグメントのうち、
ニュートリション事業

売上高	216	113.7
-----	-----	-------

平成30年3月期（連結業績予想）

連結営業利益増減要因の内訳

平成29年3月期	平成30年3月期	増減額
187億円	195億円	+7億円

増益要因 合計	+70	減益要因 合計	▲63
販売物量増加による利益増	+38	宣伝促進費の増加	▲23
製品構成差	+24	資材単価差等	▲16
販売単価差	+5	乳価差	▲8
コストダウン	+3	減価償却費の増加	▲5
		エネルギー単価差	▲4
		その他	▲7

セグメント別の内訳は、決算短信の補足情報（49頁）をご参照ください。

重点取組項目

グループ収益基盤の強化



1. 乳製品事業分野



2. 市乳事業分野



3. ニュートリション事業分野



4. 飼料・種苗事業分野

重点取組項目①



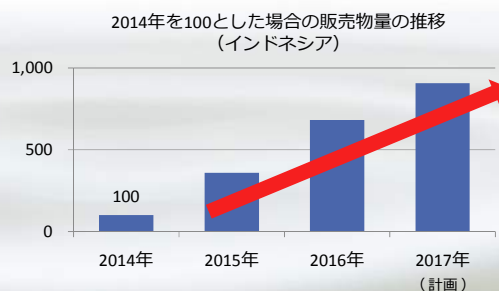
1. チーズシェア拡大による収益基盤の確立

- ✓ 6Pチーズのプロモーション展開
- ✓ 雪印北海道100ブランドの強化



2. 海外展開の推進

- ✓ チーズの市場拡大（インドネシア）と周辺国への輸出展開
- ✓ 国内からの輸出推進



重点取組項目②



1. ヨーグルト事業の取組強化

- ✓ 「ガセリ菌SP株」商品群の拡大
- ✓ 集中的資源投資の推進



海老名工場の生産設備増強



2. プロダクトミックスの最適化

- ✓ 「BOTTLATTE」、基幹ブランドのプロモーションの展開強化



14

重点取組項目③



1. マーケティング投資による事業規模拡大

- ✓ 「MBP®」を中心とした強化



2. 粉乳カテゴリーにおける事業構造の改革

- ✓ アジア市場における成人用・妊産婦用粉乳の拡大



育児用

+



成人用



妊産婦用



15

重点取組項目④



1. 種苗事業の売上拡大

- ✓ 牧草・緑肥作物等の販売拡大
- ✓ 種子生産・調達体制の強化



2. 飼料事業の利益拡大

- ✓ 総合提案型営業の推進
- ✓ 効率的な調達・生産・物流体制の構築



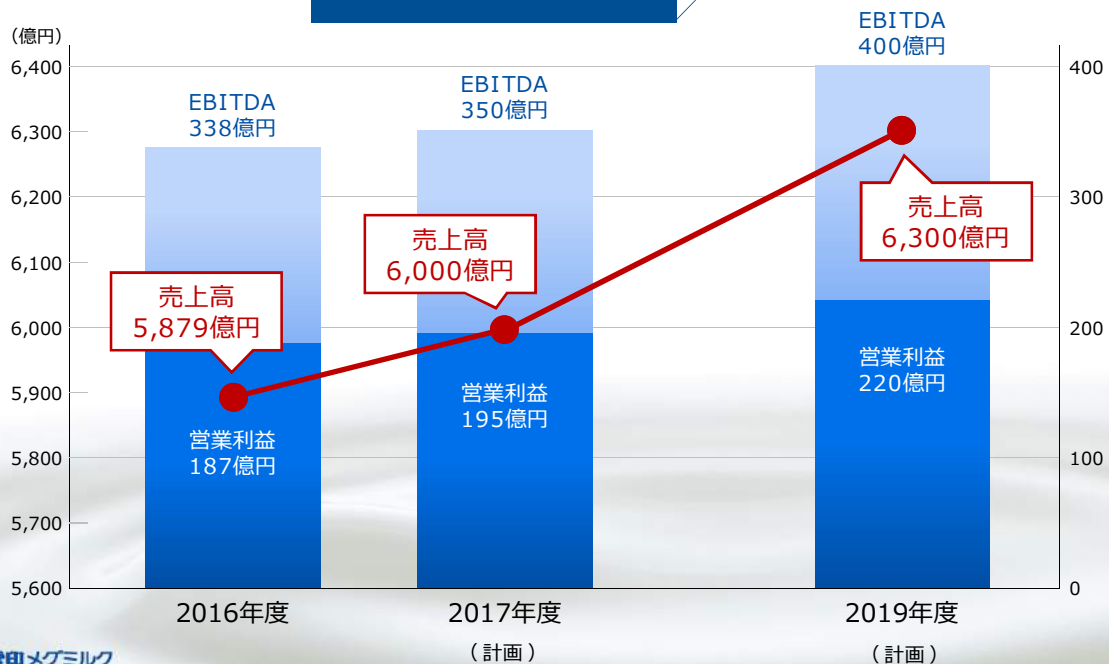
平成30年3月期（連結業績予想）

定量目標

- 営業利益
- 減価償却費
- 売上高

連結売上高 6,000億円
 連結営業利益 195億円
 連結EBITDA 350億円

平成32年3月期（最終年度目標）
 連結売上高 6,300億円
 連結営業利益 220億円
 連結EBITDA 400億円



未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。

